

平成29年4月21日

一般社団法人兵庫県建築会
会 員 各 位

一般社団法人兵庫県建築会
会長 瀬戸本 淳

第457回月例会のご案内

新緑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の最初となります月例の講演会を下記のとおりご案内申し上げます。

6月月例会は昨年同様に二部構成とし、恒例の平成29年度における『兵庫県の住宅・建築関係主要施策』と、少子高齢化及び人口減社会の課題であります『オールドニュータウン問題』に関する二講演となります。

なお、出欠のご回答は、返信メール又は別紙の回答用紙（FAX）により、来る5月12日（金）までをお願いします。

記

- 1 日 時 平成29年6月15日（木） 12:00～14:00
（講演は、12時～13時頃で、質疑の後食事とします。）
- 2 会 場 西村屋 和味旬彩
神戸市中央区磯上通7-1-20
電話 078-232-3663
- 3 テーマ (1) 『平成29年度 兵庫県の住宅・建築関係主要施策』
講師：兵庫県県土整備部住宅建築局
局長 奥原 崇氏
(2) 『オールドニュータウン問題への対応モデル事業
明舞団地の取組』
講師：兵庫県住宅供給公社 住宅企画部明舞団地再生課
主査 神吉 竜一氏
- 4 その他 会費 3,000円
（会場準備の都合上、キャンセルのお申出が2日前まででない場合は、会費は必要となりますので予めご了承ください。）

『オールドニュータウン問題への対応モデル事業 明舞団地の取組』

主要な観点

ニュータウンが整備された 1960 年代は、高度成長期の真っ只中であり、プライバシーの概念が普及した時期でした。その中で、鉄の扉により、プライバシーが守られる集合住宅団地は、憧れの的であり、明舞団地の公社長期分譲住宅の募集パンフレットでも、「近所付き合いの煩わしさから解放されます」を売り文句にしています。

しかしながら、それから 50 年が経ち、少子高齢、人口減少という、行政の支える力が減少する一方、支えの必要な人が増加するという社会的な歪みの顕在化する時代を迎え、その歪みを地域で支え合い、補い合うことなしに成り立たない社会が間近に迫っています。

そうした社会の変化のニーズに応えるべく、兵庫県住宅供給公社は、公的セクターとして、高齢化率等において将来の日本を先取りする明舞団地の再生に、兵庫県と共にハード・ソフトの両面から取り組んできました。

明舞団地の取組に関しては、県の視点で紹介されることが多いため、特に公社の視点を交えながらご紹介させていただきます。